

平成30年度第2回四街道市環境審議会会議録（概要）

日 時 : 平成30年8月28日（火曜日）
午前10時から午前11時35分まで

場 所 : 四街道市役所保健センター 3階大会議室

委員出席者 : 本橋会長 加藤副会長 大瀬委員 鈴木委員 土屋委員
中村委員 半野委員 江畑委員 伊藤委員 椎名委員
田中委員 矢野委員

委員欠席者 : 濱田委員

事務局出席者 : 環境経済部 : 宇田部長 麻生次長 荒木参事
廃棄物対策課 : 花島課長 青木課長補佐 池田主任主事 西崎主事
環境政策課 : 高橋課長 川口課長補佐 森田係長 広沢主事

コンサルティング事業者 : ユーロフィン日本環境株式会社 : 担当者2名

傍 聴 人 : 2人

—————会議次第—————

- 1 開会
- 2 四街道市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 諮問
- 5 議事
 - (1) （仮称）四街道市次期ごみ処理施設整備及び運営事業に係る生活環境影響調査報告書等に対する意見について
 - (2) その他
- 6 閉会

———会議内容———

事務局 :	【開会】
市長 :	【市長あいさつ】
市長 :	【諮問】
———市長退席———	
事務局 :	【諮問文書写しの配布】
事務局 :	【会長へ議事進行のお願い】
本橋会長 :	【会議の公開及び資料の回収についての確認】
委員 :	【承諾】
本橋会長 :	【傍聴者の確認】
事務局 :	【傍聴者が2人であることの報告】
———傍聴者入室———	
事務局	【四街道市環境審議会傍聴要領の確認】
本橋会長 :	それでは、会議次第に従いまして、議題の（１）（仮称）四街道市次期ごみ処理施設整備及び運営事業に係る生活環境影響調査報告書等に対する意見について、事務局から説明をお願いします。
事務局 :	【資料に基づき説明】
本橋会長 :	只今、事務局より説明のありました生活環境影響調査報告書について、概要書の章を区切ってご意見等を求めたいと思います。 初めに、概要書の第1章及び第2章（1ページから8ページまで）の中で、ご意見・ご質問があれば挙手をお願いします。
矢野委員 :	交通量・その他の評価にあたって、この調査報告では、国道51号と市道吉岡4号線に限定されています。 4ページの搬入出ルートを見ると、みそらから国道51号に抜ける3・3・1号山梨臼井線をかなり利用する計画になっています。同時に、将来的に3・3・1号山梨臼井線が千代田まで全部つながったとすると、東関東自動車道の利用者にとっては、千葉市経由で国道51号を通るより、四街道ICから国道51号に出たほうが早くなります。 そうなった場合、大型トラックの通行がかなり多くなるものと思われそうですが、そういったことも考慮した将来予測をしないと、周辺に対するトータルの影響は、把握できないのではないのでしょうか。
事務局 :	ご指摘のとおり、3・3・1号山梨臼井線は、みそらから国道51号までの間で拡幅整備を進めておりますが、その先（みそら～千代田間）

	<p>について、事業化するという計画は、まだ示されておられません。したがって、今回の生活環境影響調査においては、次期ごみ処理施設が現状の周辺環境に対してどう影響を与えるかという点について、純粋な評価をさせていただいたものとなっております。将来、別な事業等を計画・実施した際に生じる影響については、現時点では反映できません。</p>
江畑委員	<p>： 4ページの表 1.5-1 のダイオキシン類の法令等の規制値の項目について、新設5と既設1と記載されているものは逆ではないですか。</p> <p>また、水銀の規制値について、ハイフンとなっておりますが、今年度より規制が始まっているかと思われるので、数値は入れたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>： ダイオキシン類の法令等の規制値の項目については、ご指摘の通りですので、修正いたします。また、水銀の規制状況については、確認いたします。</p>
大瀬委員	<p>： 廃棄物の処理方法が概要書に出ていませんが、ダイオキシン対策等を鑑み、こういった処理方法を用いるのか概要の説明を願います。</p>
事務局	<p>： 本編資料 1-6 ページの表の中段に掲載していますが、排ガス処理設備といたしましては、集じん設備が乾式ろ過式集じん器、有害ガス除去設備が薬剤煙道噴霧式、無触媒脱硝方式などでございます。</p>
本橋会長	<p>： 他に何かありますか。</p>
	<p>————意見なし————</p>
本橋会長	<p>無いですので、次に、第3章（9ページから34ページまで）について、ご意見・ご質問があれば挙手をお願いします。</p>
中村委員	<p>： 9ページの表 3.1-1 中段の上層気象の項目について、2日間2季とありますが、調査日が、こういった天候の日であったか伺います。</p>
コンサル	<p>： 冬季は、比較的風の強い晴天で、夏季は、風量は通常程度の晴天でした。</p>
本橋会長	<p>： どこかにわかる記載はありますか。</p>
コンサル	<p>： 天候は掲載してありませんが、風向、風速については、本編資料の3-23ページにデータが掲載してあります。</p>
中村委員	<p>： 風が強い日、弱い日、雨の日など、1年間通しての気象パターンがあればいいと思いますが。</p>
コンサル	<p>： 地上気象については、建設予定地において、年間を通して風向・</p>

	<p>風速・気温・湿度・日射量・放射収支量の観測を行っております。</p> <p>大気安定度については、概要版の13ページの表3.1-4にまとめてございます。</p>
中村委員	<p>大気の安定度などを調べた高度が、指定高度100メートルと上限高度400メートルとなっておりますが、これはどのように決められたものですか。</p>
コンサル	<p>大気安定度の逆転層の区分を分けるために、指定高度と上限高度を設けております。観測高度は50メートル毎に設定してありますが、指定高度は、煙突実体高59メートルを超える中で一番低い観測高度として100メートルとしています。また、上限高度は、ほぼすべての気象条件において煙の高さよりも高くなる高度として、400メートルを設定しています。</p>
江畑委員	<p>騒音値の予測は、騒音発生設備が常時開放されている場所ではないという前提で予測されているように見えますが、如何でしょうか。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃる通り、一時的な開放はありますが、常時開放しているわけではないという想定でございます。</p>
本橋会長	<p>他に、全体を通じて、ご意見・ご質問はありますか。</p>
矢野委員	<p>今回の審議内容については、この場で資料を読んで意見を出すのは難しいのですが。</p>
事務局	<p>後ほどお伝えいたしますが、今回は、お配りした資料を持ち帰っていただき、内容をご確認いただいたうえで、9月末までにご意見を頂戴したいと考えております。</p>
本橋会長	<p>今回の内容は複雑なものとなっておりますので、委員の皆さんには、今一度内容を検討していただきたいと思っております。もし意見等がありましたら、事務局まで問い合わせ等をしていただき、次回の審議会までに事務局で回答を取りまとめていただきたいと思っております。</p> <p>他にご意見等がありますか。</p>
土屋委員	<p>概要書の30ページの表3.2-13の振動レベルの予測評価について、現況値とかなり開きがあるように見えますが、最寄民家など問題はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の評価では、建屋内に仕切りがない状態で予測をしております。実際は防振設備などを設置する予定でございますので、この予測値より下回るものと考えております。</p>

土屋委員	： 最寄民家の方だと、現在の数値だとかなり厳しいものがあるかと 思われますが、実際はこれより下がるということで、理解しました。
中村委員	： 概要書 34 ページの施設排水の排出について、「目標値が現況を著 しく悪化させないこと」とありますが、“著しく”という表現は、幅 がありますが、どのようにお考えでしょうか。
事務局	： ご指摘のとおりでありますので、表現を工夫するよう検討します。
本橋会長	： 次回までに具体的にしていただければと思います。他に意見等は ありますか。
加藤副会長	： 予測に用いた施設の稼働条件について伺いたいのですが、本編資 料 3-41 ページでは、「1年間 24 時間連続稼働するものとした」とさ れていますが、1日に何トンくらい焼却するという想定で予測をさ れたのでしょうか。
事務局	： 稼働日数等については、より悪い想定、すなわち安全側で想定し た条件設定となっております。したがって、必ずしも「1年間 24 時間 連続稼働する」というわけではありません。また、処理量について は1日あたり 80 トンとしていますが、こちらについても安全側で想 定した条件設定となっております。
大瀬委員	： 1 炉で 80 トンですか。
事務局	： 1 炉 40 トンかける 2 炉で 80 トンでございます。
加藤副会長	： 車両の運搬量なども、この稼働条件を反映したものとなっている のでしょうか。
事務局	： 車両の量につきましては、既に策定しております一般廃棄物処理 基本計画に記載されている値を用いており、過去の実績に基づく値 となっております。80 トンの廃棄物を持ち込む車両の量という想定 ではありません。
加藤副会長	： 車両が1日何トン運べるかは、どこかに記載されていますか。
事務局	： 本報告書中には、1日何トンといった記載はございませんが、一 般廃棄物処理施設整備基本計画の中で搬入車両数を設定しておりま す。多い時で1日平均 190 台程度と想定しております。
本橋会長	： 処理能力が 80 トンであるならば、それに対応する運搬車両の台数 が必要なのではないですか。
事務局	： 処理能力を 80 トンに設定したのは、環境省が定める計算式に基づ き、調整稼働率などを乗算するなどして算定したものでございます。

	<p>実際には、毎日 80 トン搬入されるわけではなく、四街道市で発生する総量を計算すると 73 トンぐらいとなります。ここに、災害で発生したゴミを概ね 2 年間で処理できるだけの能力をプラスし、結果として 80 トンまで対応できるように算定したものとなっています。</p>
加藤副会長	<p>： 大気質などの項目は、1 日 80 トンの処理量を基にその影響を想定されていますが、運搬車両については、1 日何トンで何台くらいを基にして想定しているのか、概要書のどこを見ればわかりますか。</p>
事務局	<p>： 予測に用いた交通量は、本編資料 3-61 ページ表 3.1.3-12 に示されていますが、廃棄物運搬車両の項目の値については、現行のクリーンセンターでの走行台数を基にしています。処理量を基に予測した他の項目と異なり、運搬車両については、現状に合わせた設定となっております。</p>
本橋会長	<p>： 他に意見はありますか。</p>
矢野委員	<p>： 施設の炉は 40 トンが 2 基あるとのことですが、実際の運転の仕方を伺いたいのですが。</p>
事務局	<p>： 炉はメンテナンスを行う必要がありますので、1 炉を 24 時間稼働し、一方をメンテナンスする。メンテナンスが終わったら 24 時間稼働し、もう一方をメンテナンスする、といった運用になります。</p>
本橋会長	<p>： 他に意見はありますか。</p>
	<p>————意見なし————</p>
本橋会長	<p>： 意見がないようですので、議題 1 の審議についてはこれで終了します。今後、委員より挙げられたご意見・ご質問については、事務局で取りまとめを行い、次回の審議会で書面で配布していただきたいと思えます。</p> <p>次に、議題（2）その他についてですが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>： 【今後の日程等について説明】</p>
本橋会長	<p>： ただいま、事務局より説明のありました内容について、ご意見、ご質問等はございませんか。</p>
	<p>————意見なし————</p>
本橋会長	<p>： 意見が無いようですので、これをもちまして四街道市環境審議会を終了します。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>
	<p>【閉会】</p>